

品川稲門会

<http://www.shinagawa-waseda.net>

会長ごあいさつ

東京都23区支部長を務めて

品川稲門会会長 塚田成四郎 (S50法)



品川稲門会では焼きそばと飲み物を毎年提供しています。

例年春に行われる東京23区支部大会は本年3月6日、リーガロイヤルホテルにて300名を超える支部会員にご参集頂いて開催しました。

昨年4月16日、東京都23区支部総会に於いて支部長に選任され、平成27年度1年間の任期で東京都23区支部長を務めました。

講演者にはマラソン解説でお馴染みの金哲彦氏をお呼びして「駅伝と日本マラソン復活の道」という演題でご講演をいただき、大変好評でした。

東京都の23区にはすべての区に稲門会があり、品川稲門会もその一つです。支部長は各稲門会から総会や新年会にご招待され、かなり多数の稲門会を訪問いたしました。稲門会によって総会や新年会の参加人数にかなり違いがあり、杉並稲門会の新年会の参加者が180名を超えていたのには驚かされました。

アトラクションでは早稲田出身者が多数を占めるマンドリンアンサンブル「ラピスラズリ」の皆さんにイタリア民謡などの聴き覚えのある曲を中心に演奏頂き、最後は「早稲田の栄光」を全員で高らかに歌いました。

品川稲門会も参加人数の拡大を図らなければと改めて思っております。

東京都23区支部の運営にどっぷりと浸かった1年間でしたが、支部運営のテーマは支部長任期を1年度制から多年度制度へ移行するかどうかでした。

東京都23区支部は、稲門祭およびホームカミングデーの日に大隈庭園での出店を実施し、多くの来訪者から喜ばれています。

これには賛否両論があり、丁寧な議論と準備が必要だと思いついていただいで議論を深め、最後の支部総会では全員一致の賛成

を得て多年度制へ移行することが議決されました。数年にわたる議論に一応の決着を付けられたことに安堵した次第です。

このように行事と議論に明け暮れた1年間でしたが、何とか乗り切れたのは当品川稲門会の会員皆様のご支援の賜です。特に、勝山宏則副幹事長には23区支部の幹事長として、中尾公一副幹事長には事務局長として大変なご尽力をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。 塚田成四郎

ご案内

第26回品川稲門会総会

★懇親会費 八〇〇〇円

★年会費 三〇〇〇円

★日時 二〇一六年九月三日(土曜日) 午後六時から

★会場 TKPガーデンシティ品川「アネモネの間」

港区高輪3-13-3 SHINAGAWA GOOS 1F
(電話) 03-5449-7300

★会場アクセス

- ・JR山手線「品川駅」高輪口↓徒歩約1分
- ・JR横須賀線「品川駅」高輪口↓徒歩約1分
- ・JR京浜東北線「品川駅」高輪口↓徒歩約1分
- ・JR東海道線「品川駅」高輪口↓徒歩約1分
- ・京急本線「品川駅」高輪口↓徒歩約1分



第25回 品川稲門会総会

有吉輝恒 (S39教育)

平成二七年九月一二日、品川稲門会総会はゆうぼうとで開催されました。参加者は来賓を含めて四〇名。会議室で司会勝山宏則副幹事長のもと、塚田成四郎会長が参会御礼に併せ開会の辞を述べました。

来賓の根本進早稲田大学地域担当部長からご挨拶があり、記念会堂の立て替え工事など大学の近況が述べられました。新記念会堂はスポーツミュージアムや学習スペースなども併設した多機能型スポーツアリーナとなり、21世紀の早稲田の新たなシンボルが誕生することです。

総会議題に入り、小林義行副会長より事業報告と事業計画の報告がありました。また、会計報告が高橋慎司会計によってなされ、長谷山純監査と牧絹子監査より計算報告が適正であると認めるとの報告がありました。全参加者の拍手をもって承認されました。

続いて講演会の部に移りました。今回は早稲田大学山楽会の平山敏夫さんを招いて、山歩きの楽しさについて講演をお願いしました。谷川岳などの写真を映しながら、音楽会で音楽を楽

しむように、山に出かけて山を楽しむという山楽の世界が紹介されました。

会場を「重陽の間」に移し、懇親会の部に入りました。司会進行は賛助会員の押田多恵子さんです。

ご来賓として金森捷三朗大田稲門会会長、そして佐藤裕彦大田稲門会副会長が紹介され、ご挨拶をいただきました。

長久保敏理事から秋のゴルフ大会のお知らせが、小林義行副会長から秋のウォーキングの会のお知らせがありました。

品川稲門会相談役である濱野健区長によって乾杯のご発声があり、和やかな懇親の和が広がりました。

宴が進むなか新入会員の紹介があり、自己紹介を受けました。会の後半にはビンゴゲーム。女性会員の進行で行いましたが、ビンゴ専用機があつてスムーズに進行します。皆で持ち寄った景品獲得に一喜一憂し大いに盛り上がりました。

最後は吉澤誠之助理事の指揮のもと恒例の早稲田大学校歌の大合唱です。閉会の辞も吉澤理事が務め、お開きとなりました。





幹事長づいあいさつ

品川稲門会幹事長 渡辺寿士 (H2法)

前号の発行された昨年8月以降の一年を振り返ります。

会報発行日の8月1日に第2回若手校友の集いが五反田で開催され、23名の参加者がありました。全国の稲門会と同様に品川稲門会も若手校友の会員増強は重要課題です。出席者がこの集いをきっかけにして他の行事へもご参加くだされば嬉しい限りです。また将来的には、新たな行事の開催などへと発展していくことも期待されます。今年

は9月17日に大崎で開催予定です。お問い合わせは木伏副幹事長(青年部会長)までお願いいたします。

9月17日、大学より根本進地域担当部長、大田稲門会より金森捷三郎会長・佐藤裕彦副会長をお迎えして、通常総会が五反田ゆうぽうとにて行われました。総会終了後には講演会ありピンゴゲームありと盛りだくさんの夕べになりました。因みにゆうぽうとは同月末に33年間の営業を終えて閉館となりました。

10月18日は稲門祭。例年通りのテント出店に加え、支部長区として清酒の試飲販売もあり、揃えた法被が初の出番となりました。

した。また今年初めての試みとしてソフトクリームをメニューに加えましたが、めでたく完売となりました。

秋の恒例行事はゴルフ。10月27日に第55回ゴルフ大会が成田近郊のグリーンオークスCCにて開催されました。続く11月1日には秋のウォーキング&グルメの会。目黒の古刹と泉岳寺を訪れ、田町のそば処謙徳にて打ち上げが行われました。

年が明けると恒例の箱根駅伝応援会と七福神巡り。1月3日、復路、例年通り品川女子学院にて応援会、同月10日、今年の七福神巡りは羽田七福いなりでした。両行事とも年々参加者が増えています。

2月20日、TKPガーデンシティ品川にて新年会。アトラクションはマンドリンアンサンブル・ラピスラズリのミニコンサート。翌月の23区支部大会でもお世話になりました。

そして3月6日はリーグロイヤル東京にて東京都23区支部大会。塚田支部長・勝山幹事長・中尾事務局長の体制で1年間、支部長区の大任を果たし、その締め括りとしての支部大会は、

鎌田総長もご臨席、金哲彦氏の講演、ラピスラズリのマンドリン演奏ともに好評を博し盛會裏に終えることが出来ました。

この後は、春の行事としてすっかり定着したゴルフとジャズフェスとウォーキング。3月24日、第56回ゴルフ会は清澄ゴルフ倶楽部で開催されました。

5月8日、母の日に恒例の早慶大学対抗ジャズフェスティバルが大森ベルポートにて開催されました。年々良くなっているとの声も聞かれました。5月29日、春のウォーキング&グルメの会は昨秋の続編であり、山手七福神の残りの社寺を巡りました。

こうして1年は過ぎてゆき、今年9月3日が総会です。TKPガーデンシティ品川にて皆様のご来場をお待ちしております。また品川稲門会では、毎月第一火曜日にきゅりあん会議室で役員会を行っています。ご意見やご要望がありましたらご連絡をお願いいたします。



2015年度 稲門祭 ホームカミングデー

中澤郁子 (S33教育)

2015年度の稲門祭は、10月2日、ホームカミングデーの記念式典と同時に早稲田キャンパスで始められました。ホームカミングデーは、卒業15年、25年、35年、45年、50年の校友が招待されますが、稲門祭は卒年に関係なく参加できる早稲田大 品川校友会の最大イベントです。

品川稲門会は、今年度も大隈庭園の一面にテントを張り、ヤキソバ、酎ハイ、日本酒、ジュース等を出品しました。特に、今年初めて扱ったソフトクリームは好評で、すごい行列ができるほどでした。

当日は快晴に恵まれ、10時の開場を待たずに人が集まってきました、どんどん賑わってききました。まだ準備も整っていないうちから飲み物を購入される方もいて、例年以上の売れ行き好調です。

おかげでわか作りのスタッフはてんでこ舞いの有様。最初はこんなに多くを用意して大丈夫かと不安に思った品物は早々と完売しました。

今年度は品川稲門会が23区稲門会の当番で、もう一つのテントでお酒の試飲コーナーを引き受けました。日本酒を来場者に基本無料で飲み比べてもらう好評の催しですが、大吟醸をはじめとして多様な酒が全国の校友の酒蔵から寄贈されます。こんなことから早稲田の伝統を大切にしている校友の底力を感じます。

また毎年のことですが、早稲田祭で出る大量のゴミは早稲田大学環境ロドリゲスの協力で見事に片づけられます。このことから私たちは現役学生後輩のお世話になっていることを感じさせられます。

2016年の稲門祭は10月23日に行われます。誘いあって、ぜひご参加ください。



品川稲門会ゴルフ懇親会

長久保敏 (S45理工)

■第55回ゴルフ大会

10月27日、品川稲門会の第55回ゴルフ大会を千葉成田近郊のグレンオークスCCで開催しました。

当初の天気予報が幸運にも当たらず秋晴れの絶好のコンディションに恵まれ、参加者全員無事完走しました。年齢層も八〇歳から四〇歳までとかなり幅が広いにも拘わらず、終始仲良く笑顔の絶えないプレーを披露。

スパーショットあり、珍プレーあり、ラッキープレーありでスコアはあまり気にしない雰囲気です。



囲気です。

優勝は長久保さん、準優勝は有吉さん、3位は納谷さんでした。ニアピンは住友さんが何と4ホールのうち3ホールをゲット。皆さんから大きなブイングにも関わらず何の躊躇も見せずに賞品を独り占め。また小波賞が4名と平均した実力を発揮された一日でした。

懇親会では、ソフトドリンクに加え、アルコール類も進み和気藹々とした雰囲気の中でゴルフ談議に花を咲かせてお開きとなりました。

■第56回ゴルフ大会

3月24日、埼玉県東松山市にある清澄ゴルフ倶楽部にて第56回品川稲門会ゴルフ大会を開催しました。午後からは晴天となり、桜の花も蕾を膨らまし始める中、今回は練馬稲門会から3名、故佐々木さんの友人2名にも参加頂き、総勢16名にて激戦が繰り広げられました。特に2組目は4人の年齢合計が三百歳ながら、年齢を感じさせないその澆刺としたプレーぶりに参加者全員脱帽。ゴルフも健康促進に一役買っていると感じたものです。

さて、結果の方は、優勝は長久保さん、準優勝は中島さん、第3位は蔵本さんでした。



ハンディはダブルペリア方式で決めるのですが、今回は新たな試みとして、運が大きく影響するように、スコアの足切りなしでハンディの上限なしとして実施しました。何と48以上のハンディを貰った方もおられました。予想外の展開も期待できることから、次回もこの方法を採用したいと考えています。

プレー終了後の懇親会も和気藹々とした楽しい時間を過ごすことができました。

秋には九州パサージュ琴海にて旅行とゴルフを兼ねた大会を計画しています。

ウォーキングとグルメの会

小林義行 (S42理工)

■秋のウォーキング

今回は、江戸最初の山手七福神のうち、妙円寺↓瑞聖寺↓覚林寺を巡り、泉岳寺を経て田町までをウォーキングしました。

11月1日定刻10時にはJR目黒駅頭に参加者全員が集合。目黒通りを山手線の内側に向かって元氣一杯スタートしました。

東京都庭園美術館を左にして行くくと右側に妙円寺があります。

妙円寺には福祿寿と寿老人が祀られています。ご住職の計らいで特別拝観をさせていただきました。

次は八方園近くの瑞聖寺へ。

重要文化財大雄寶殿そばのお堂に布袋尊が祀られています。ご住職から来年の寶歴をいただき、参加者全員の益々の開運間違いなしと確信しました。

続いて毘沙門天の覚林寺へ。毘沙門天は災難除けの福徳を授けます。覚林寺は「白金の清正公さま」と親しまれています。

加藤清正に因んで開運を祈った後は、桜田通りを渡って、赤穂浪士のお墓があることで有名な泉岳寺へ。各自墓参りや資料館見学の後は、ゴールの田町駅へ。そは処謙徳での懇親会でお開きとしましたが、約一二〇〇歩のウォーキングでした。

■春のウォーキング

雲一つ無い5月最終日曜日午前10時JR目黒駅。参加者平均年齢七十歳で春のウォーキング。秋に引き続き山手七福神のうち、大円寺↓蟠竜寺↓龍泉寺を巡りました。

目黒駅西口を下りると急な行人坂の途中に大円寺があります。大円寺には大黒天が祀られています。五穀豊穰、実りの神です。次は弁財天の蟠竜寺へ。山の手通りの大鳥神社近くにあり、



岩窟内に石造弁財天(岩屋弁財天)、弁天堂内に木造弁財天(八臂の天女像)が安置されています。

弁財天は智慧、弁才、財をつかさどり、音楽、芸術の上達にも御利益があります。

続いては龍泉寺の前に、五百羅漢寺へ寄り道。拝観料を払って堂に入ると羅漢像群に圧倒されます。お寺のご厚意で本堂でのお釈迦様の説法を拝聴し、身も心も清々しくなりました。

龍泉寺は目黒不動として有名で、日本三大不動の一つにあげられます。商売繁盛、多幸をもたらす恵比寿天は、仁王門左手の池近くに祀られています。

三々五々お参りしてから五百羅漢寺へ戻り、らかな茶屋で昼食。らかな膳とビール、お酒、あんみつ等々各自舌鼓を打ちながら至福のひと時を過ごしました。

第16回早慶明3大学対抗 ジャズフェスティバル

松井博之 (S52政経)

毎年「母の日」に開催される恒例イベント。今年は風薫る5月8日(日)に約一〇〇〇名の来場者をお迎えし、大森ベルポートアトリウムにて開催されました。

この日に備え、本イベントの実行委員会を構成する早慶明の現役学生と、OB・OGが企画内容を練り上げました。これを

早稲田の校友組織としては、大田稲門会と品川稲門会が全面的にバックアップするという、まさしく世代、地域、大学間を超えたクロスオーバーイベントとなっています。

第1部は、吉田純也さんの軽妙な司会に導かれ、昨年優勝のWASEDAハイソサエティオーケストラ、最多優勝回数を誇るMEIJIビッグサウンズソサエティオーケストラ、そして「山野ビッグ・バンド・ジャズ・コンテスト」を制し大学チャンピオンとなったKEIOライトミュージックソサエティが次々と登壇し、SWING感いっぱい

のサウンドで満員の観客を魅了します。観客の皆さんの拍手の大きさを



で決まる優勝の栄冠は、明治の頭上に輝きました。

各校に濱野品川区長、松原大田区長から賞金が手渡され、地元招待高校の品川女子学院の生徒さんからの花束贈呈へと続き拍手喝采!

続く第2部は、大田区から招待した東京高等学校のバンドにより、高校生とは思えない洗練されたジャズ演奏が、そして、日本JAZZ界を牽引するサックスプレイヤー・本田雅人さんの「これぞプロ」というキレの有る演奏が続き、会場から万雷の拍手を浴びました。

3大学ピックアップメンバーの演奏と、司会の吉田純也さんのボーカルも会場を盛り上げ、大盛況の内に終演となりました。

羽田七福稲荷めぐり

長谷山純 (S53理工)

今年の新年七福神めぐりは、十三回目、保科先輩ご推薦の羽田七福稲荷めぐりとなりました。七つの稲荷神社と一つの弁天様をお参りしました。

快晴の1月10日11時に京急羽田線糀谷駅集合、約2時間かけて穴守稲荷までゆつくりと回りました。多摩川が東京湾に注ぐこの辺りの神社は、昔から風水害を受け、大震災や大空襲で焼失を繰り返し、さらに羽田空港拡張での遷座などもあり建物は比較的



新しい小さくて質素です。しかし、蛇稲荷、鵜稲荷、白魚稲荷などと親しみを込めて呼ばれ、地元住民の信仰と強く結びついているのを感じました。道中は商店街があり、町工場あり、畑、釣り宿、明治のレンガ造りの堤防もあって、多摩川の土手の上から望む国際空港との対比が興味深い町でした。

昼食会は穴守稲荷参道にある割烹「旭(あさひ)」、日曜日はお休みのところを開けてくれて、愛想の良いご夫妻とお嬢さんが歓迎してくれました。明るいうちから酒を飲み、刺身から天ぷら、煮物焼き物、メの寿司まで大満足、気持ちの良い一日でした。

ここで過去十二回をまとめて記録しておきたいと思います。
①東海(品川)七福神(以下七福神を省略) ②隅田川 ③浅草名所 ④池上 ⑤港(麻布) ⑥日本橋 ⑦荏原 ⑧谷中 ⑨深川 ⑩新宿山手 ⑪川越 ⑫柴又。参加者数については直近で13名、16名、16名、そして今年が19名と右肩上がりです。から来年は目標24名。皆様今後とも是非奮ってご参加の程お願いいたします。

箱根駅伝応援会

漆邦臣 (S33教育)

第92回東京箱根間往復大学駅伝競走のスポーツ誌による直前ルポでは、「連覇か王座奪還か」の見出しが見られた。前回の箱根駅伝で圧倒的な強さを見せつけた青学大は、10月の出雲駅伝で快走を見せたが、11月の全日本では東洋大が優勝し力を見せた。駒大も「3強」の一面として油断がならない。前回2位に10分50秒の大差をつけた青学大でも駅伝に絶対はないという予想であった。

それでも、終わってみれば青学大の独走。その内容は往路、復路ともトップの座を一度も他校に渡さず、また全10区間中、往路で3人が復路でも3人が区間賞を取るという圧勝だった。

さて、我が早稲田大の結果はどうだったか。往路1区で中村選手が区間5位とまずまずのスタートだったが、花の2区では2014年に区間賞を取った高田主将がまさかの14位に順位を落としてしまう。それでも、3区の武田選手が11位に、4区の永山選手が7位に、5区の安井選手も追い上げて、往路は5位で終わった。復路は順調で、6区で佐藤選

手が順位を4位に上げてから、光延選手、柳選手、井戸選手、藤原選手と、最終10区までキープ。特に井戸選手は9区で区間賞と力走した。総合で昨年より一つ順位を上げて、4位でゴールした。

品川稲門会有志は一月三日、

午前中から応援会場の品川女子学院カフエテリアに続々と集合。お正月とあって「おめでとございませう」の挨拶の中、大型TVスクリーンに映る駅伝を見ながら、和やかな歓談が続く。選手が第一京浜国道の学院前に近づくとき、玄関前に出て早稲田の小旗を振りながら力いっぱい声援を送った。

今年も例年以上の会員、家族が集まり盛況であった。



23区支部大会

勝山宏則 (H2理工)

3月初旬にしては暖かな2016年3月6日(日)リーガロイヤルホテルにて、2015年度の23区支部大会が開催され、315名が参加しました。

会場入り口では支部長区である品川稲門会メンバーが稲門祭のために準備をした揃いの法被姿で、来場者に立礼お出迎えをしました。司会は賛助会員のプロ司会者、押田多恵子さんと勝山が担当しました。

第一部はマラソンの金哲彦さんをお招きして「駅伝と日本マ



ラソン復活の道」の講演会。金さんは箱根駅伝で早稲田全盛期に4年間連続で5区の出陣で活躍した名選手で、毎年NHKラジオの箱根解説を担当されています。今年は稲門会による応援を紹介してくださいました。会場には金さんの奥様も講演を聴きに来場されていました。金さんの事務所は品川区の武蔵小山駅そばにあります。ランニング研究所と歯科医師である奥様が運営するスポーツに特化した歯科室が一体となったRUNto



ための議案が賛成多数で可決したことを報告し、支部のより一層の発展への第一歩を宣言しました。

総長をはじめとする校友会幹部の皆様、東京三多摩支部、千葉、埼玉、神奈川の各県支部の代表の皆様が23区支部会員とともに一堂に会し交流を深めました。

鎌田薫総長より来賓祝辞がなされ、23区支部が組織改革により発展していくことに期待する、最も校友の多い地区であり、

より多くの校友の集まる大会にしてほしいという激励の言葉をいただきました。

また、早稲田大学スポーツ科学学術院の樋口教授からは壇上で

のワセダズ・ヘルス・スタディの解説がありました。

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

も知っている国内外のポピュラーな曲ばかりで皆が楽しみました。『早稲田の栄光』は舞台前に集まった有志が歌いました。

締めくくりは、豊島稲門会の石川範行幹事のリードによる、校歌斉唱、エールです。オリピックを控え「ニッポン」を応援しました。

中締めには、次期支部長区の足立稲門会堀内英男会長に挨拶をいただき和やかに閉会となりました。



アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で

アトラクシオンは、マンドリンアンサンブル「ラピス・ラズリ」の15名のメンバーによる演奏。曲目は誰で





品川稲門会新年会

神野吉弘 (S57政経)

平成28年2月20日(土)に、品川稲門会新年会が開催されました。

これまで利用していた五反田のようぼうとが閉館したため、次の会場をどこにするか幹事一同熟慮の結果、品川駅から近く費用面でも手ごろな、ホテル・グース(旧パシフィックホテル)の宴会場であるTKPガーデンシティで行われることになりました。

事前に2回ほど下見を行って問題となったのが、ホテルの宴会場階が地下2階にあり正面玄関から来場されたお客様が迷う可能性があること、また会場のアネモネの間が、宴会場正面から見て真裏に位置しているので、お客様の誘導が必要なことでした。

当日会場に早めに行き、ホテル正面玄関に品川稲門会会場は地下2階との案内板を出していただき、宴会場入口の誘導係は私が対応することで対策を完了いたしました。なるべく目立つようにと稲門会のえんじのハッピを着て一人で入口に立っ

るのは勇気がいったのですが、会場にいらした会員の案内をしつかり務めることができ、迷子一人も出ることがなかったのは幸いでした。

会は、塚田会長の挨拶で始まり、23区稲門会の会長も務める塚田会長からは、他稲門会の新年会にも出席する機会が多く、大田は100名、杉並は180名と大盛況だったのに比べて、品川の36名は寂しすぎる。今後は一層の会員増強に努めたいとの決意が述べられました。

続いてお隣大田稲門会の天明副会長の来賓挨拶、そして漆副会長の乾杯で歓談が始まりました。

乾杯後の司会は、私神野から勝山副幹事長にバトンタッチしました。アトラクションは、ラビスラズリさんのマンドリン演奏。代表者が塚田会長の高校の同級生ということで、塚田君と呼んでいたのが印象的でした。

最後は、小林義行副会長の閉会の辞で閉められ、終始和やかな会は終了しました。

